

M.M さんの報告書



昨年の春に生物資源科学部に入学し、学科は海洋生物資源科学だが、この学校の環境を活かし海洋生物を含め大好きな動物や自然のことをたくさん学び、色々な体験をしたかと思っていた。今回、本学部初のマレーシア研修に参加することにして、行く前は不安なことも多かったが、日本とは違う生物が多様に生息する熱帯の自然にとってもわくわくしていた。そして実際にマレーシアのボルネオ島で約2週間研修を行い、私が思っていたよりもずっと良い経験をする事ができた。



ボルネオ島のテングザル

私たちが訪れたボルネオ島は自然であふれていた。植物は大きく、生き物たちは鮮やかで、じっとりと湿った空気の中を多くの自然の音が響き渡っていた。

今回のいくつかの研修先でたくさん自然と触れ合う体験をして、日本では見られない生き物たちの面白さとともに、こんなにすばらしい自然を私たちは守っていかなければならないと感じた。

私が今回の研修で最も印象深かったのはリバーサファリだった。私はサルが好きで、ボルネオ島には島固有のテングザルがいるのでとてもわくわくしていた。夕方のまだ日が高い時間帯にボートに乗り、現地のガイドさんを筆頭にみんなでサルやオオトカゲなどを探した。野生のテングザルを見られたときは、ボルネオ島でしかできない体験を存分に味わうことができとても嬉しかった。日が落ち始めると今度はボートからホテルを眺めた。電気もない真っ暗で静かな熱帯雨林の木々がまるで星屑が散りばめられたかのように輝き、幻想的な世界を創り出していた。そんなにたくさんのホテルを私は生まれて初めて見たのであまりの美しさにただただ感動した。マレーシアボルネオ島は日本のように科学技術が大きく発展しているわけではないが、そのことでこの美しい自然が保たれているのだと思った。

私は今回の研修を通し、私たちの普段の生活とは違う環境が世界にはたくさんあり、日本の良さ、恵まれていること、私たちがこれからの未来で守っていかなければならないものなど多くのことを学んだ。このような機会を与えてくださった本学の先生方、添乗員さん、マレーシアでお世話になったガイドさんや研修先の方々、そして2週間一緒に過ごした同学部のみなさんにとっても感謝している。このボルネオ島での経験を大学生活や社会に出てから活かしていきたいと思う。

